

2012年10月2日

報道関係者各位

慶應義塾大学SFC研究所
対馬市
対馬農業協同組合

慶應義塾大学SFC研究所・対馬市・対馬農業協同組合が
「対馬地域の地域産品を活用した新商品開発やマーケティング手法の開発」
等を協働で推進する覚書を締結

慶應義塾大学SFC研究所（神奈川県藤沢市/所長 金子郁容）と対馬市（市長 財部能成）、並びに対馬農業協同組合（組合長 桐谷安博）は、活力ある地域の形成と研究教育活動の推進に向けて各主体が密接な連携を図ることについて、覚書を取り交わすこととなりました。

本連携は、慶應義塾と長崎県との間で締結された「慶應義塾と長崎県との地域振興に関する連携協力協定（2009年4月10日）」の趣旨と、同協定に基づく事業成果に基づき推進するものであり、対馬地域の地域産品を活用した新商品開発やマーケティング手法の開発などの事業を、慶應義塾大学SFC研究所「フードデザイン・ラボ」〔代表：玉村雅敏（総合政策学部准教授）〕と対馬市、対馬農業協同組合の知的・人的・物的資源の活用による、対馬地域の特性を活かした活性化や地域振興として推進していきます。

連携に関わる取り交わし式を以下の通り開催いたします。ぜひご取材ください。

記

取り交わし式

日 時：2012年10月9日（火曜日）午後4時から

場 所：対馬市 別館2階第一会議室

主な出席者

慶應義塾大学 総合政策学部准教授 玉村雅敏

対馬市 対馬市長 財部能成

対馬農業協同組合 組合長 桐谷安博 ほか

事前申込み：不要

以上

（本発表資料のお問い合わせ先）

慶應義塾大学SFC研究所 フードデザイン・ラボ

TEL：0466-47-0094 E-mail：food-lab@sfc.keio.ac.jp（担当：高橋）

対馬市地域再生推進本部 取り交わし式に関するお問い合わせ先

TEL：0920-53-6111（担当：築城（つき））

対馬農業協同組合

TEL：0920-52-1116（担当：吉川）

対馬と慶應義塾大学SFC研究所の地域資源活用への取り組み（要旨）

これまでの取り組み

対馬市と慶應義塾大学SFC研究所は、2009～2011年度の3年間、長崎県「地域の強みを活かした地域力向上支援事業」の一環として、地域資源の発掘や課題解決に向けた取り組みを連携して行い、その過程でJA対馬も含めた3者で協働する機会が生まれました。

2009：地域資源及び課題等の予備調査
詳細なフィールドワークと施策の検討

2010：地域資源及び課題等の本調査
施策の試行と推進時の課題検討

2011：地域資源を活かしたテストマーケティングの実施
「対馬の魅力を伝える産品販売」を協働で推進

各年度の間・最終報告書は、長崎県の「地域の強みを活かした地域力向上支援事業」に掲載 (<http://www.pref.nagasaki.jp/town/sign.html>)

対馬の魅力を伝える産品のテストマーケティングの実践

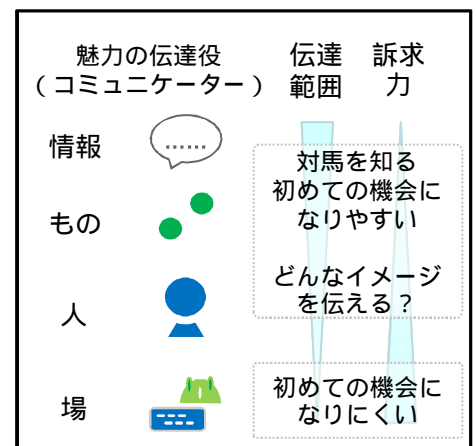
島外の大学生や、食に関する専門家・有識者の視点に基づく発見や提案は多岐に渡りましたが、共通して「対馬の魅力をどう伝えるか？」が課題にありました。

対馬の地域資源の中には、国境の島として多くの国と交わってきた長い歴史や、今も昔も島の人々に共通する「自然美との共生意識」が見られます。そんな他所にはない“交わり”の文脈を今に活かし、自然と共生する魅力を伝えるために、「対馬の魅力の伝達役（コミュニケーター）」のあり方を課題に設定しました。

島外の人に対馬の魅力を伝え、また他の産業も合わせて市場を開拓していくために、対馬の自然環境の恵みの象徴であり、かつ試行錯誤を重ねて育ててきた代表的な産業であるしいたけに着目し、近年、大都市で増えている食の可能性を開拓するイベントで、新しい売り方などテストマーケティングを展開してきました。



島外の大学生の視点で対馬の魅力を考える



“魅力の伝達役”をどう使い分けるか？



対馬の自然と産業努力の象徴：しいたけ



作る人と食べる人を都市部で繋ぐ
ファーマーズマーケット
(2011.2、東京青山)

JA共済連とNHKエンタープライズによる
動画ブログ番組「地域のきずな」で番組化



料理教室の先生向けの食のイベント
クスパキッチンコレクション
(2012.2、東京渋谷)



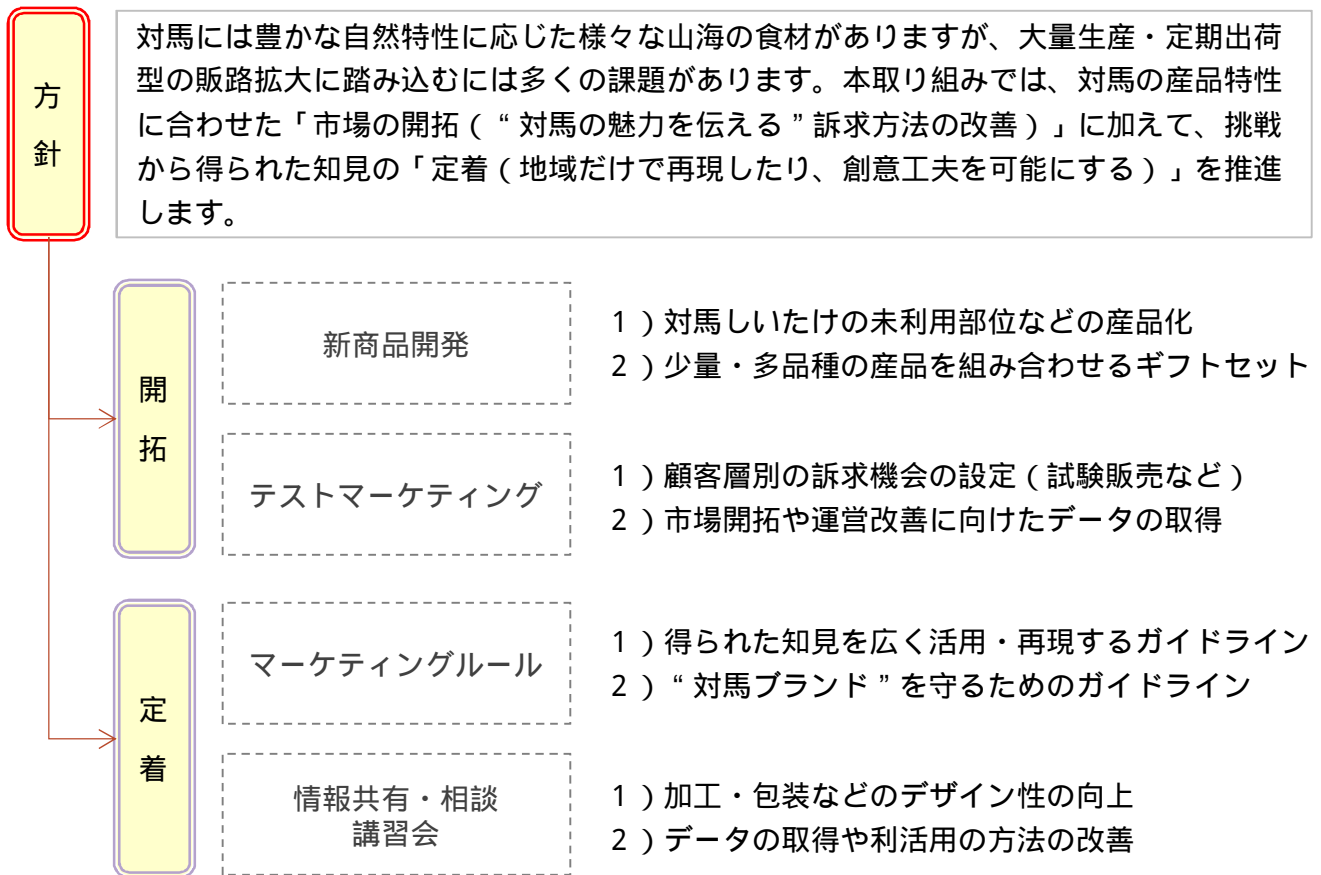
生産者と消費者とシェフの出会いの場
丸の内マルシェ
(2012.8、東京丸の内)

協力：NPOフードデザイナーズネットワーク

これからの取り組み

地域の魅力を伝える産品販売のテストマーケティングは、従来の取り組みとは異なる訴求の方法や顧客層やニーズなどの発見がありました。これらの知見をより実践的に展開するために、対馬市とJA対馬、そして慶應義塾大学SFC研究所の連携を密にし、可能性の「開拓」と知見の「定着」に向けた取り組みを進めてまいります。

1) 全体方針・取組内容



2) 活動のスケジュール

【2012年度】

1. 三者協働のデザインワークショップによる新商品の開発
2. 対馬産品に共感をする顧客層とそのニーズの整理
3. 対馬産品の特性に対応したマーケティングやデータ利活用等のガイドラインの作成
4. 都心部における食のイベント等での試行実施

【次年度以降】

1. 開発試行した新商品をモチーフに、対馬の特性を活かした商品のあり方や販売手法の確立
2. 対馬と関連する島外の諸団体や、本取り組みを通じて形成された対馬ファン等との連携機会の設定
3. 継続的な新商品開発やマーケティング活動を行う推進体制や仕組みの整備
4. 成果を高めるためのガイドラインの改定や試行実施等の継続実施